

1956

昭和31年

1956 9月 地方自治法の改正により
常任委員会の数が4に
(総務経済・厚生・文教・建設)

1957 10月 沼津駅北口が開設 **14**
(昭和32年)

1956

14 沼津駅北口が開設された頃の沼津機関区

明治19(1886)年、東海道鉄道の箱根越え区間(現御殿場線区間)の工事拠点として設置されたのが始まり。開通後も沼津駅で補助機関車の連結・切り離しが行われるため、重要な機関区として扱われ最新鋭の機関車が配置された。昭和9(1934)年の丹那トンネルの開通後も、沼津は電化区間と非電化区間の境として引き続き重要な役割を担い続けたが、同61(1986)年11月に廃止となった。転車台と扇型車庫も見える。(昭和32年)



15 流木が押し寄せた永代橋

昭和33(1958)年、台風第22号は9月26日に伊豆半島に接近し、大雨をもたらした。沼津市内では床上浸水270戸、床下浸水811戸の被害があった。狩野川流域で大規模な水害が発生したことから「狩野川台風」と命名され、気象庁が公式に命名した最初の台風となった。

- 1958 9月 狩野川台風が襲来し
大きな被害を受ける **15**
(昭和33年)
- 1962 10月 市立駿河図書館オープン
(昭和37年)
- 1963 7月 米国・カラマズー市と姉妹都市提携
(昭和38年)
- 1964 3月 ライシャワー駐日米国大使への
陳謝を決議 **16**
(昭和39年)
- 6月 石油コンビナート建設反対を
決議 **17**



昭和39(1964)年3月31日 静岡新聞

16 ライシャワー駐日米国大使への陳謝を決議

昭和39(1964)年、アメリカ大使館ロビー前で、沼津市在住の19歳の少年が、車に乗ろうとしたライシャワー駐日米国大使を刺した、いわゆる「ライシャワー事件」を受け、沼津市議会が大使への陳謝を可決した。

- 1965 7月 狩野川放水路完成 **18**
(昭和40年)
- 1966 7月 市役所現庁舎完成 **19**
(昭和41年)



昭和39(1964)年6月17日 静岡新聞

17 石油コンビナート建設について全会一致で反対を決議

昭和36(1961)年発表の石油コンビナート第1次案が挫折したあと、経済事情の好転、東駿河湾地区の工業整備特別地域指定などを背景に、静岡県は同38(1963)年、再度の石油コンビナート計画を立てた。沼津市には火力発電所と江浦湾の巨大タンカー接岸施設の設置が予定されていた。これに対し、住民反対運動が高まり、同39(1964)年6月16日の市議会定例会には反対する住民約5,000人が市役所に押し寄せ、市議会は石油コンビナート建設反対を決議した。その後、片浜・愛鷹の工業団地計画に石油コンビナートを設置する動きがあり、再び反対運動が活発化し、同年9月16日に市は建設反対を表明し、さらに9月30日に市議会で建設反対決議を可決した。



18 狩野川放水路竣工

昭和26(1951)年に建設が着手されたが、完成前の同33(1958)年9月26日の狩野川台風により、狩野川流域で大きな被害が発生。その後、建設が推進され、同40(1965)年7月に完成した。この放水路は今日に至るまでの水害被害防止に貢献している。



昭和39(1964)年10月1日 静岡新聞

19 市役所現庁舎完成



庁舎新築祝賀パレード

世の中の出来事

- 1956(昭和31)年 経済白書
「もはや戦後ではない」と宣言
- 1958(昭和33)年 一万円札発行
東京タワーが完成
- 1960(昭和35)年 カラーテレビ放送開始
- 1964(昭和39)年 東海道新幹線開業
東京オリンピック開催

1966 昭和41年

1966